

令和7年6月

秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和7年6月25日(水) 午後2時00分
閉 会 : 令和7年6月25日(水) 午後2時58分
会 議 場 : 歴史文化伝承館5階第1会議室

出席委員 : 2番委員 萩原 重範
3番委員 土橋 慶子
4番委員 根岸 和美

出席者 :	教育長	前野 浩二
	事務局長	山越 達也
	事務局次長兼学校指導監	飯野 芳伸
	事務局次長兼教育総務課長	杉田 泰三
	学校教育課長	峯岸 克典
	保健給食課長	内海 典子
	文化財保護課長	伊藤 暁
	教育研究所長	佐々島忠重
	生涯学習課長	内田 祥史

書 記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和7年6月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、2番委員及び3番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和7年5月28日に開会された5月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1)教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 2点報告する。

1点目、梅雨時期ではあるが、先週までは猛暑続き、そして台風崩れの低気圧の影響もあってか、先ほどは大雨となり、また晴れるという梅雨らしい天候の中ではあるが、中学校の学校総合体育大会予選会球技武道の部が先週末終了した。陸上の部が明日26日、相撲と新体操の部が7月4日に行われる。各学校の運動部の3年生は県大会の予選会を兼ねていたので、県大会出場の部及び個人以外は3年間取り組んできた部活動も引退となる。なお、県大会出場権を得たチームや個人は県大会で、関東、全国大会を目指して頑張ってもらいたいと思う。

2点目、令和6年3月に秩父市と(一社)ちちぶ結いまちとの間で、秩父地域の先端技術等を活用した産業の活性化による地域振興の推進に関する連携協定に基づき、子供たちへの先端技術、未来技術の魅力を伝えるため、本日1時から市長、副市長、教育長立会いのもと、(一社)ちちぶ結いまち代表理事の深田雅之様から26台のミニドローンを寄贈いただいた。このミニドローンについては、出前授業も計画されており、教育活動の一環として活用していきたいと思う。今後は、台数を増やしていただくとともに、中学校へも寄贈を考えていただいていると伺い、大変ありがたく思っている。中学校でも同様に活用し

ていきたいと思う。

- 2 番 委 員 : この頃猛暑続きで、先ほどは大変な豪雨になったり、天候も落ち着かない。事務局の先生方も心配なのは子供たちの健康で、特に熱中症については、毎年細かい注意指導が入っているので、今のところ大きな事故はないと伺っている。何年か前には、できるだけ電気を使わないようにと、学校の空調関係を校長が一元的に管理して、温度設定を決めていた学校もあった。それだと適宜、的確な対応ができない場合もあるので、各教室で直接生徒の指導に当たっている先生方の判断に委ね、温度管理等も無理をして、電気料を使わないということではなく、少し柔軟に余裕を持って対応をしていただきたいと思っている。特に、私が気になるのは節電で、高等学校であったが、学校、校舎等を回ってみると、生徒は移動教室で教室は空であった。寒くなるぐらい冷房が効いていて、そして電気も煌々としていることがあってはいけないので、できるだけ先生方には、節電を旨にして、よく校内を見て、無駄な電気の使用については、先生方で組織的に見回りをして、節電に努めていただき、暑い時には、エアコンを使うという対応をしていただければいいのかなと。また、あと3週間もすると夏休みに入るが、夏休み中も中学校では部活動等が盛んに行われると思うが、その時にも熱中症対策を忘れずに、一定の部屋を冷房を効かせておいて、何かのときには生徒を収容できる対応をとって、1人も秩父地区からは熱中症の子供たちを出さないように、指導をお願いしたいと思う。

英語教育実施状況調査の結果が、新聞に載っていた。福井県が中学生では、英検3級以上の相当は79.8%で、全国で1番ということだが、或いは政令市も含めると、さいたま市が90%近い英検3級以上の生徒がいるという話であった。20日の総合教育会議の時にも、学力向上の話も出たが、私は算数についてもできるだけ教科担当制を小学校1年時から導入をすべきだと思っている。算数については苦手とする子供たちが多いことと、算数指導に必ずしも得意ではない先生方もいる中で、算数については芸術と同じように、教科担当制で、1年生の時からしっかりと算数教育を実施していけば、秩父地区の子供たちの学力も、もっとアップするのではないかと、これも最終的には、教員の問題と予算の問題になると思うが、ぜひ、お考えいただきたい。それと同様に、ALTの配置についても、福井県では、新聞等を見ると、全校配置、そして授業だけでなく、部活動や給食でも生徒と時間を共にして、英語を使う機会を確保している。或いは授業等でも会話や作文のテスト等も取り入れることで、かなり英語に重点的に取り組んでいることが書かれていた。ALTについても、1校1名で、全校配置、大きな学校については、原谷小、一中、二中など、児童、生徒数の多い学校については複数配置をして、朝から下校時まで必ずAL

Tの先生が複数いる学校環境を作っていただけると、英語力もアップするのかなと。また、実際に英語担当の先生方に対しても、非常に良い刺激になるし勉強になると思う。英語教員の教科力向上がなければ、生徒の学力をアップすることはできないので、英語教員が教科力向上の研修、オンライン研修等も進めているようであるが、英語科の先生方の教科力をアップする必要があると思う。英検の準1級以上を取得している先生方は46.2%であるそうだが、少ないと思う。高校等を見ると80数%に上がっているようであるが、中学校の英語科の先生方の教科力向上を、まず優先的に取り組んでいただいて、先生方の教科力・指導力アップすれば、当然、子供たちの学力も上がってくると思う。ぜひ秩父地区も、いろいろな特色を持たせるという点について、算数と英語をしっかりと小学校のうちから時間数を取り、そしてALT等も配置して、対応していただくと秩父地域の子供たちの学力アップに直結していくと思う。これから計画の中に取り込んでいただければありがたいと思っている。

3 番 委 員 : 3点報告する。

1点目、5、6月または9月下旬以降の開催予定となった運動会について、練習は暑い中で行い、熱中症など体調不良の心配はあるとのこと、中学生は特に任意で帽子を着用できるとのことであるが、周りの子が使っていないかったり、髪型なども気にする時期なので、保護者が声をかけても使用しないことも多いようで、これを学校でメッシュなど、小学生のような普通の帽子というよりも少し使い勝手の良いもので、鉢巻きやビブスのように、学校の備品にして、1年使うという形でも良いので、指定にして、体育などで使うことはできないかという声が一部で出ている。

2点目、今月は水泳学習も始まり、学校でも救急救命法を研修、学習する学校もあるようであるが、事故が起こることなく、楽しみながら参加できたら良いと思う。ニュースでも、プール授業後に体調を崩したところもあるとのことだったので、衛生面、気を付けては、もらっていると思うが、特に気をつけて指導していただけたらと思う。

3点目、給食も無償化になり、学校で出してもらえているので、保護者としては助かっている。こちらもニュースで、牛乳で体調不良を訴える子が出たというニュースもあったと思うので、暑い中大変とは思いますが、今以上に管理に気を付けて提供していただけたらと思う。

4 番 委 員 : 学校訪問をした2校について報告する。

6月11日久那小学校の3、4校時に伺った。1年生の国語の授業では、児童が4人、テレビのモニターと通常の黒板を併用し、必要な箇所では、教諭はノートに記入するよう、的確な指導がなされていた。「元気、本気、根気、勇気、目指せスーパー1、2年生」と掲げられた

教室の目標を体現するように聞く姿勢と発表に際しての快活で積極的な態度は素晴らしいと感じた。仲良し1組の自立活動の授業では、児童の興味を引き出す構成で工夫があり、手厚い印象を受けた。達成感を味わえるような指導を心がけている様子が伺えて、毎日の積み重ねが功を奏し成長に繋がることと感じた。また2年生の国語、3年生の理科、4年生の道德、6年生の社会の授業も拝見したが、少人数クラスの利点を十分に生かしていると感じた。というのは、随所でタブレットを有効に使用しており、その操作も大変習熟しているようであり、6年生の社会の授業ではインターネットの検索情報を授業の資料に使っていて、縄文時代や弥生時代の服飾の比較などの情報も即時に示すことができ、より厚みのある授業になっていると感じた。こういうものの利用によって、共有の資料制作などの負担が軽減することは大変喜ばしいことであるので、積極的に活用していただきたいと感じた。

次に、6月23日、尾田蒔中学校の2・3校時を拝見した。2校時において英語、それから特別支援学級、美術、数学の授業を、3校時は、国語、理科を参観した。いずれの授業においてもデジタル教科書やアプリ等のICT機器の特性を理解し、授業の中で有効的に活用されている様子を間近で拝見した。英語の学力の定着ということであれば、このデジタル教科書の中に各自がヒアリングができる機能や、何度もリピートできる機能も十分に搭載されていたので、これを利用して反復学習とか、それから基礎の定着という取り組みがより工夫次第ではかなうのではないかと思ったので、機器のさらなる活用が学力の底上げにも繋がるのではないかと思った。尾田蒔中学校では、学力向上に向けての現状の課題の資料も提出されたので、その課題を正面から捉え、真摯に取り組む姿勢が随所に見られた。先生方の発語は明瞭かつ大変歯切れが良く、生徒の様子を丁寧に観察しながら、柔軟に授業を展開しており、指導の的確さが伺えた。生徒は落ち着いた態度で授業に臨んでおり、学習への真剣な姿勢が見られた。尾田蒔中学校の環境ですが、改修が行われた校舎は全体的に明るく、大変清潔感にあふれており、特に教室から望む武甲山の風景が非常に美しく印象的で、この窓からの景色というのは、そこで学ぶ中学生のふるさとの原風景の一つになるのではないかと窓の外の景色を見ながら感じた。一方で、空調設備が整っていない教室も見られた。その中で行われている授業は参観していても、この時期なので、暑さを感じるものであったので、今後、気温や湿度の上昇が見込まれるこの季節においては、例えば、空調のある空き教室を利用するなど柔軟な運用で、児童、生徒の健康管理や授業環境の確保をより一層工夫していただければと思った。

個人的な所感としては、理科の授業における実験が先生も生徒もとても楽しそうで、私も久しぶりに理科実験の楽しさを間近で拝見して、

こういう楽しさというものも授業に必要なんだと感じた。また国語の授業では日本語の奥深さや言葉を大切にする指導が大変印象的であり、生徒たちの言語感覚を丁寧に育てている様子が見られて、日本語が学習の基礎になると思った。

(2)事務局からの報告事項

事務局 長： 2点、報告する。

初めに、来週7月5日(土)に市職員の防災訓練が行われる。今年は大規模林野火災を想定し、小中学校の体育館での避難所開設訓練を実施する。教育委員の皆様にはご承知おきいただければと思う。

次に、秩父市議会6月定例会の結果について報告する。6月4日に開会された秩父市議会6月定例会は6月24日、21日間の会期をもって閉会した。市道の認定、条例の一部改正、補正予算など付議された全ての議案が可決された。補正予算の中で、入学準備品購入補助金、いわゆるランドセルの購入補助金を小学校入学祝い金に振り替える予算を可決いただいた。これにより、来年4月入学の児童に本年度申請をいただき、一律5万円を祝い金として交付する。本年度は、制度の切り替えの年になるので、令和9年度の入学者児童については、入学後に移行する形で、本年度は来年入学するので先に交付する形であるが、その次の年は、入学してお祝い金を出すという形になるので、ご承知おきいただきたいと思う。また6月16日から18日までの3日間に行われた市政に対する一般質問では13人の議員が登壇し、そのうち5人の議員が教育委員会関係に関する質問を行った。主な答弁内容をお配りしたので、後ほどご覧いただければと思う。

学校指導監： 3点、報告する。

1点目、北部教育事務所の総務、人事、学事担当学校訪問についてである。6月30日に始まり9月29日までの間に市内全校の訪問を実施する。校舎内外の巡視、諸表簿の点検、教職員の人事管理等について説明を行い、各校の課題の改善に向け、指導、助言をいただく。

2点目、市内小中学校の修学旅行についてである。前回も報告したが、小学校の修学旅行は予定されていた10校のうち7校が無事に終了した。残りの3校は、南小が11月に吉田小と原谷小が12月に実施する予定である。また、中学校の修学旅行は全8校が無事に終了することができた。

3点目、中学校の学校総合体育大会秩父郡市予選会についてである。水泳は6月9日(月)、球技、武道は6月19日(木)、翌日20日(金)に実施済みである。陸上競技は、明日の6月26日(木)、男子バレーは6月27日(金)に予定されている。少し天候が心配である。新体操、相撲は、7月4日(金)に予定されている。

教育総務課長 : 1点、報告する。

6月10日、荒川西小学校のPTA会長から、秩父市長、教育長に対して要望書が提出された。その内容は荒川西小学校の保護者が、話し合いを行った結果、荒川西小学校と荒川東小学校を統合して欲しいという意見で統一できたため、統合に係る調整をしていただきたいというものであった。要望に至った経緯を説明すると、荒川西小学校では、今年の5月に保護者の代表者が学校の将来の方向性についてアンケートを実施した。アンケートは、学校を「現在のまま存続させた方が良いか」もしくは、「荒川東小学校と統合した方が良いか」を問うもので、その結果、大多数が荒川東小学校との統合を選択したことから、保護者の間で協議を行い、意見の統一が図られたということである。

教育委員会としても、今回の要望を重く受け止め、統合に向けて取り組んでいきたいと考えている。なお、要望内容については、地元選出の市議会議員及び荒川・大滝地区の町会長にも伝えており、一定の理解を示していただいている。

学校教育課長 : 2点、報告する。

1点目、入学祝い金についてである。参考に、これまで過去の交付率について報告する。令和3年度は現金での交付で、交付率は100%であった。令和4年度から令和6年度までは入学準備品購入補助金、いわゆるランドセル補助金として郡市内でのランドセルの購入条件として、毎年5万円を交付をしていた時になる。4年度は、73.8%、5年度は、82.2%、6年度は、87.5%であった。6月議会で承認いただいて、来年8年度に入学する児童からは、家庭の実情に合わせて、購入要件と縛りなく、子供たちのために、自由に使える祝い金に変更となるので、本日、改めて個別に通知を発送した。3年度と同様に交付率100%を目指して進めていく。

2点目、学童保育室についてである。6月12日、19日に公立学童保育室の全ての指導員を対象に、学童の事故等への救急処置、対応の仕方を学ぶをテーマに、研修会を開催し、2日間で約90人が参加をした。熱中症や誤飲等の際の応急処置、AEDの使い方や心臓マッサージの実技研修をした。あとは、食物アレルギーに係るエピペンの使用方法などについても、秩父消防署の中山出席主幹に講義をいただいた。当日の様子は、指導員皆さんが真剣に特に実際のAEDを使った研修や人形を使った心臓マッサージはお互いに確認し合いながら、強さとか、成人向けの人形と幼児、赤ちゃんで3種類あったが、それぞれ強さが違うので、実際にアドバイスいただきながら、真剣に取り組む姿が見られた。引き続き、児童の安全安心を第一に保育を行っていく。

保健給食課長 : 1点、報告する。

6月18日(水)荒川農村環境改善センターにおいて、秩父地区学校保健会総会が開催された。この会は、学校における健康教育の充実と地区学校保健会相互の連携を図り、学校教育の円滑な実施に資することを目的として、秩父地域1市4町で構成される。秩父市の前野教育長、小鹿野町の武藤教育長を参与として、会長には小鹿野町の横田内科呼吸器科クリニックの横田院長が就任されている。会員は学校医、学校歯科医、学校長、学校薬剤師、指導主事、保健主事、養護教諭、教育委員会保健担当で構成される。事業の内容は、学校歯科保健コンクールの実施、学校保健に関する研修会などを年間を通して開催している。また、学校保健会主催で、来月7月29日(火)午後1時半から3時30分、皆野町文化会館ホールにて、健康教育講演会を開催する予定である。講師は、埼玉医科大学小児科教授菊池透先生である。テーマは「小・中学校の健康教育は人類を救う」ということである。教育委員の講演会参加希望については、保健給食課で取りまとめるので、後ほど希望があれば申し出ていただければと思う。入場料は無料となっている。そして、この講演会であるが、去年は4番委員の根岸先生に講演をいただいたところである。

文化財保護課長 : 1点、武甲山資料館の事業について報告する。

現在、資料館では、「ムラサキ」の特別展示を行っている。「ムラサキ」は武甲山から秩父太平洋セメント株式会社三輪鉱業所により移植された希少植物で「埼玉県レッドデータブック2010植物編」によると、県内の野生種は絶滅したとされている。その根より得られる色素は古来より、最も高貴な色とされる深紫色の染料であり、古い書物にも詠まれている。こちらは、7月2日(水)まで展示している。なお、来月には、武甲山固有種の希少植物である「ミヤマスカシユリ」の特別展示を予定している。開花状況等もあるのでスケジュールはまだ確定していないが、日程が決まり次第、資料館のホームページや市のSNS等で周知していく。委員の皆様にも、機会があったら、ぜひご覧いただきたいと思う。

また、7月26日(土)には、「武甲山お絵描き会」を開催する。これは毎年夏休みに、市内の小学生を対象に半日にわたって実施する武甲山の写生会である。当日は秩父美術家協会の先生方を招き、写生する際の画角の捉え方や描き方等、児童の指導に当たっていただくこととなっている。

教育研究所長 : 1点、報告する。

第1回教育相談室並びにスクールソーシャルワーカーによる学校訪問についてである。この訪問は、児童、生徒の欠席状況や不登校、非行、問題行動、保護者対応等の諸問題に関する情報交換、対応策を中心に学校経営全般について、協議する場として年2回、全ての小・中

学校を訪問している。不登校の状況については、教育委員会でも喫緊の課題と捉えていて、この訪問をきっかけに学校と教育相談室の連携が深まり、丁寧な対応、対策を行うことができるものと期待している。

1 巡目の訪問は、5月7日から28日までのうちの6日間実施して、21校全ての小・中学校を訪問することができた。研究所指導主事1名と教育相談員、県費負担のスクールソーシャルワーカーの3名で学校訪問し、学校の管理職および生徒指導、教育相談担当、また、さわやか相談員等から、昨年度の欠席状況や年度当初の出欠状況、不登校等課題を抱える児童生徒の現況、校内教育支援センターの活用状況等を伺っている。このような機会を通して情報を共有し、今後ますます学校、教育研究所、教育相談室および関係機関連携し、登校不安を抱える児童生徒への支援に繋がるよう取り組んでいきたいと考えている。

なお、2巡目の訪問は2学期に予定をしている。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

6 議案審議

教 育 長 : 議案第15号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

生涯学習課長 : 議案第15号「秩父市歴史文化伝承館運営委員会委員の委嘱について」の提案理由及び説明を述べる。

2 番 委 員 : 伝承館利用権利者とは、どのような方か。

生涯学習課長 : 伝承館利用権利者とは、基本的には公民館の講師や利用者の代表として公民館講座クラブ連絡協議会の会長を委嘱している。

教 育 長 : ほかに質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第15号は、原案どおり可決した。

議案第16号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

生涯学習課長 : 議案第16号「秩父市社会教育委員の委嘱について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第16号は、原案どおり可決した。

議案第17号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

文化財保護課長 : 議案第17号「文化財の指定について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決すること
でいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第17号は、原案どおり可決した。

7 協議事項

(1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、13件の協議をお願いします。

2 番 委 員 : ちちぶ熱気球フェス2025について、安全対策については大丈夫
か。事業実績はあるのか。

教育総務課長 : 気球を上げる業者の安全対策と実績等について確認をする。

教 育 長 : ほかに質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、
ちちぶ熱気球フェス2025については、安全対策と実績等確認する
ことで、全ての事業について、後援等を承認することはいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、
事務局には、今後の処理をお願いします。

(2) 7月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 7月教育委員会定例会について、7月22日(火)午後2時から秩父
市役所本庁舎3階庁議室において開催することを御提案させていただ
く。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、7月教育委員会定例会については、7月22日(火)午後
2時から、秩父市役所本庁舎3階庁議室にて開催する。

8 その他

事 務 局 : 1点、事務連絡を申し上げる。

令和7年度埼玉縣市町村教育委員会研究協議会が7月15日(火)埼
玉会館小ホールで行われる。出欠の連絡をお願いしたい。

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会6月定例会を閉会する。